「共に生きる」ファンド事業計画書*（7頁程度）*

※2015年８月（第22回）申請事業から適用

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| プログラム名 | JPF「共に生きる」ファンド | | | | | |
| 事業名 |  | | | | | |
| 開始日 | 西暦　　　年　　月　　日 | 終了日 | 年　　月　　日 | | 日数 | 日間 |
| 団体名 | （法人格　　） | | | 担当者名 |  | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| JPF助成申請額  *予算設計書の助成申請額と同額を記載* | 円 | ％ |
| うち個別事業費 | 円 | （　％） |
| 事業運営共通経費 | 円 | （　％） |
| その他資金 | 円 | ％ |
| 事業費総額 | 円 |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １．事業目的  *●事業の必要性*  *●申請事業実施によりどのような成果を目指すか* |  | |
| ２．事業実施地 | *※事業実施地が被災地外の場合は、カッコ書きで受益者の出身地を記載* | |
| ３．事業概要  *●詳細は3.事業内容に記載* | *※活動が複数となる場合は、項目（コンポーネント）毎に簡略に記載）* | 裨益者（誰が、何人）  *●活動によって、「直接的に」利益を受ける対象者と、「間接的に」利益を受ける対象者に分けて記載。* |

4．事業内容

①事業地・受益者の現状と問題を説明してください。

②「解決しなければいけない具体的な問題」→「目指すゴール」→「問題を解決する活動の内容と実施方法」→「活動の受益者」をコンポーネント毎に記載

*★必要に応じてコンポーネント数を増減してください*

**コンポーネント１**

【解決しなければいけない具体的な問題】

【目指すゴール】

【問題を解決する活動の内容と実施方法】

1-1

1-2

【活動の受益者（誰が何人）】

**コンポーネント2**

【解決しなければいけない具体的な問題】

【目指すゴール】

【問題を解決する活動の内容と実施方法】

2-1

2-2

【活動の受益者（誰が何人）】

５． 事業管理体制

* 1. 人員配置

*★　本事業の実施・管理のために、何を担当する人員をどこに配置するか、活動内容と関連づけて説明*

* 1. 資金管理

*★　口座管理・現金管理の担当者・場所等について説明*

６．JPF申請事業助成終了後の展望

*★　どのような状態になったら終了するか、継続するのであれば資金も含めどのように実施するのか(他団体への引き渡しを含む）について記載*

７．他のアクターとの連携・調整

*★　行政機関・対策本部・社会福祉協議会・ボランティアセンター等に事業計画について説明・了解を得ているか、どのように連携しているか等について説明*

８．その他の関連情報

* 1. 申請団体による関連事業

*★　自己資金や他の助成金により、過去または現在実施されている事業がある場合、本事業が申請団体の本体事業の中でどのように位置づけられるのかを説明。*

* 1. 同一または類似の事業で他の助成等への応募の有無を必ず記載してください。

有り／無し*（該当しない方を削除）*

*（「有り」の場合、下記を記載）*

応募先機関名：

応募状況：　応募中／助成手続き中／助成中／助成終了 *（該当しないものを削除）*

応募事業名：

応募金額／助成決定金額：

助成対象期間：

助成費目：

* 1. その他情報

９． 団体概要

1. 人員配置：

*★　団体が実施する全活動における事務所配置、スタッフ人数、担当配置を説明*

1. 団体代表者：
2. 団体法人登記所在地：

団体連絡事務所所在地：

（連絡先）

・電話：

・FAX：

・E-mail：

・URL：

1. 事業担当・連絡責任者：

（連絡先）

・電話：

・FAX：

・E-mail：

1. 法人格：

・法人登録時期：

・直近年度の総支出額：

・直近年度の寄付収入額：

1. 設立目的と活動内容：

*★　特に災害対応の活動実績がある場合は記述のこと*

**＜申請にあたってのチェックリスト＞**

◆ 事業開始日・終了日・日数は募集要項の規定に従い、正しく記載されていますか？

◆ 「助成申請額」は予算設計書のJPF予算申請額と同額になっていますか？

◆ 提出する書類（定款、今年度事業報告書・決算書、次年度の事業計画書・予算書　等）は揃っていますか？